

令和6年度きのくにコミュニティスクール推進フォーラム

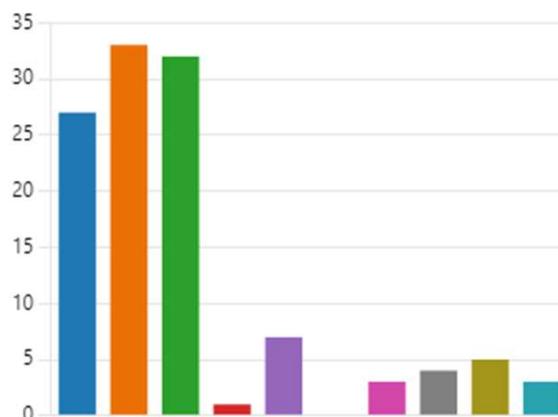
参加者数：144名

【学校の部：56名 地域の部：50 行政の部：38名】

アンケート集計結果（アンケート提出者104名：回収率72%）

1 参加者の所属、職種について（複数回答可）

● 教職員	27
● 行政職員	33
● 学校運営協議会委員	32
● 地域学校協働活動推進員	1
● 公民館関係者	7
● 企業関係者	0
● P T A 関係者	3
● 共育コミュニティ関係者	4
● 家庭教育支援関係者	5
● その他	3



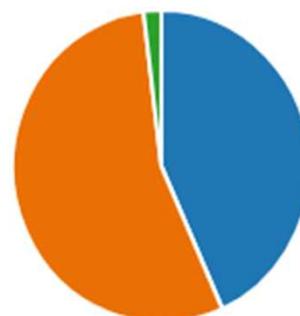
2 参加した分科会について

● 学校の部	41
● 地域の部	35
● 行政の部	28



3 フォーラムに参加して、学校運営協議会について理解できた。

● 大いにそう思う。	45
● おおむねそう思う。	57
● あまり思わない。	2
● 思わない。	0



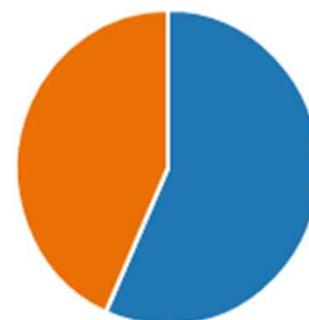
4 フォーラムに参加して、地域学校協働活動について理解できた。

● 大いにそう思う。	39
● おおむねそう思う。	63
● あまり思わない。	2
● 思わない。	0



5 フォーラムに参加して、今後、それぞれの立場において、コミュニティ・スクールに関わる取組を推進していこうと思う。

● 大いにそう思う。	59
● おおむねそう思う。	45
● あまり思わない。	0
● 思わない。	0



ご意見・ご感想（一部抜粋）

分科会について 【学校の部】

- 安田先生の話聞き、印象に残る言葉は熟議と「こどもはいい大人に出会わないといい大人になれない」です。今の学校でこどもたちや周りの方たちが地域を考えることができるよう自分自身も取り組んでいきたいです。
- 具体的な事例を通して、校長として実現したいです。学校の課題改善に向けた体制づくりについて理解できました。とりわけ人と人とのつながりから生まれる、こどもたちの豊かな学びの実現に感銘を受けました。
- 行政職員としての伴走支援のあり方、総合的な学習の時間を核とした地域人材のつなげ方、熟議のあり方を学ぶことができました。コミュニティ・スクールに関わって長くなります、相談できる人が少なく、自信を失っていたので本フォーラムで自分の方向性が間違っていなかったことを再確認できました。
- 学校側が地域の方々を受け入れることが大事だと思いました。先生、親だけじゃない人との関わりの中でこどもは将来のことを学ぶと思いました。こどもが笑顔になるには、大人が楽しんでこどもに接する、安田先生のお話楽しく勉強になりました。
- 安田先生が校長としておすすめこらえたコミュニティ・スクールについて大変よく分かりました。地域、（保護者も含め）学校の教職員が協力してこどもたちを育てていくことの大切さを再確認しました。
- 安田先生のコーディネート力には驚きました。こどもたちのために何ができるか、教師も地域も一緒になってやってよかったと感じれるよう努力したいです。

分科会について 【地域の部】

- 学校と地域の素晴らしい連携とその成果を紹介いただき、「つなぐ人」の大切さを痛感しました。光の部分だけしか分かりませんでした。我が町ならではの取組を連携してできたらと思います。
- 事例発表の内容がすごかったです。この取組を軌道に乗せた前川さんの人間力に感嘆しました。情熱を学びたいです。
- 参考になり、自分の意識が変わりました。体験だけで終わらせないこと、学校と地域が協働でつくり上げる、どのように意識を変えていくかが課題です。
- 各地区のコミュニティ・スクール推進に向けて、こどもたちの興味、探求心を高めることをまず、考えることが大切だと思いました。
- 地域とのつながり、教育に大人が関わることの大きさがわかりました。開かれた教育場をつくれるといいと思いました。
- 取組や考え方について非常に参考になる前川先生の話でした。トップダウン的かもしれないが、行政、校長が市町村の教育ビジョンにどれだけ位置づけていけるかが重要と感じました。
- 「コミュニティ・スクールは地域オリジナルしかない」、とても深く残りました。

分科会について 【行政の部】

- 地域の住民力を活用して、子どもたちのためによりよい学びを提供し、よりよい大人になってほしいと思います。親や先生以外のいろいろな大人と関わることでいろんな考え方を学んでほしいです。子どもも、大人も学び合う、いい言葉でした。
- 実際の活動をまじえた分かりやすいお話でした。大人も、子どもも、そして地域も共に学び合い成長していかねばと改めて思いました。
- 今田教育長のお話を聞き、行政としてやらなければならないことはわかりました。どのように学校（教職員）、地域に働きかけていけば良いか考えていきたいと思います。
- 地域の人々の温かいまなざしが子どものやる気につながるということが一番印象に残りました。
- 橋本市さんのコミスクの取組が約15年かけたものだとお聞きして、時間のかかることだと思いつつも、早急に進めていかなければならないものだと感じます。本日の講義の内容を参考にさせてもらいながら、できることから少しずつと思います。
- 橋本市未来プロジェクトはとても素敵な取組だと思いました。子どもたちの声が届くシステム、ぜひ、私の町でもやってみたいと思いました。また、「人のつながる仕組み」を整える大切さは、とても共感できました。

全体会について

- ワールドカフェの手法は、多くの人との関わりを楽しみながら考えを深めることができました。これも、熟議の1つということがわかりました。まとめのなかで、何をするのか、どんなふうにするのか、が大切なのではなく「何のためにやるのか」そのことを共有することに推進の糸口があることを感じました。
- 学校、地域、行政それぞれのお話しを聞くことができ、それぞれの視点からコミュニティ・スクールの意義を考えることができ、とても参考になりました。
- 斬新な形式で様々な意見を聞くことができました。特に小学校校長は働き方改革が課題と感じていて、そこをコミュニティ・スクールで解決できれば、と考える方が多く感じました。
- いろいろな立場の方と話し合うことができ、勉強になりました。共通する認識は、「人とのつながり」です。大切にしたいです。
- 地域と共に歩める明るい学校にするために、学校の教職員も、コミュニティ・スクールについて理解を深めること、地域は理解を広めることが大切だと思います。
- 様々な立場、様々な地域の方の意見を聞けることがよかったです。やはり、他地域の取組を知ることは、自ら地域の取組を活性化させるために大切だと思います。
- 短時間でシャッフル？と思いましたが、同じ3つの分科会からの全体なのに、全くちがった観点からの話し合いになったり、内容のある話し合いになりました。今後とも機会があれば、ぜひ参加したいです。